

令和4年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

野田村教育委員会

—目 次—

○はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○「野田の教育」における主な取り組みと点検評価・・・・・・・・	2
○学校教育行政の成果と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	4
○生涯学習文化行政の成果と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	11
○生涯スポーツ行政の成果と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	19

はじめに

野田村では、毎年度「野田の教育」を作成・刊行し、当該年度の方針と計画を定めています。

この報告書は、「野田の教育」で定めた計画等がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和4年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める点検・評価結果の報告書となるものです。

報告書の構成

この報告書は、次の2つの事項で構成しています。

- ① 「野田の教育」における主な取り組みと点検評価に関するもの
- ② 教育委員会の会議及び主な活動状況を取りまとめたもの

「野田の教育」における主な取り組みと点検評価

項目	評価	担当
学校教育行政の方針と計画		
1 学習指導の充実	○	学 校 教 育 班
2 生徒指導・こころのケアの充実	○	
3 教員の指導力向上	○	
4 地域学習・復興教育の推進	○	
5 その他の事業等	○	
(1) 小中学校校長会議の開催		
(2) 国際理解教育の充実		
(3) 食育出前教室の開催		
(4) 教育支援委員会の開催		
(5) 特別支援教育支援員研修会の開催		
(6) 村内教育相談の実施		
(7) 指導主事による学校訪問指導の実施		
生涯学習文化行政の方針		
1 生涯学習社会の形成	△	生 涯 学 習 班
(1) 推進体制の充実		
(2) 指導体制等の充実		
(3) 普及・啓発活動の充実		
2 青少年の健全育成	○	
(1) 家庭教育の支援		
(2) 生涯各時期における学習活動の支援		
(3) 学校と地域の協働推進		
3 芸術文化の振興	○	
(1) 芸術文化活動の振興と環境整備		
(2) 文化財の保護		
生涯スポーツ行政の方針		
1 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	○	生 涯 学 習 班
(1) 推進体制の整備・充実		
(2) 情報及び広報活動の推進		
2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活動促進	△	
(1) スポーツ推進委員の研修と活動促進		
(2) 地域指導者の養成と活動促進		

項 目	評 価	担 当
3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	○	生涯学習班
(1) 野田村民体育大会の開催		
(2) スポーツ・レクリエーション大会の開催		
(3) 悠 YOU スポーツクラブの育成と活動助成		
(4) 体育協会の組織強化と自立支援及び主体的な活動促進		
(5) スポーツ少年団の活動促進と自立支援		
4 体育施設の整備と活用促進	○	
(1) 体育施設の整備		
(2) 体育施設の利活用		
(3) 体育施設の適切な管理運営		
(4) 学校体育施設の開放と利用促進		
5 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承及びホストタウン活動の推進	△	
(1) 台湾陸上協会、彰化市等との交流継続		
(2) 村民の台湾理解の促進		

【評価】

- ◎（達成）：優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
- （概ね達成）：良い取り組みや状況等が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
- △（やや達成が困難）：課題は少なからずあり、目標達成がやや順調ではない又は一定の成果があったが新たな課題が生じた。
- ×（達成が困難）：課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんどの成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

1 学校教育行政の実施状況

令和4年度 学校教育行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
転入教職員研修会 4月1日（金）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 辞令交付 (2) サービスの宣誓 野田中学校 川口 冬子 副校長 (3) 教育長挨拶 (4) 職員の紹介 (5) 村長講話「野田村について」 (6) 村内視察研修	○辞令交付、村長講話のほか、村内視察研修により、転入職員が、野田村について理解を深める機会となった。
第1回野田村小中 連携教育推進会議 4月22日（金）	場所 総合センター 内容 (1) 小中連携教育の推進について (2) 各校の学力向上取組の具体的構想について (3) 各校の教務運営計画について (4) 各校の研究計画について	○小中連携教育の重点を確認し、具体的な構想や計画を協議することができた。
第1回野田村生徒 指導連絡協議会 4月25日（月）	場所 総合センター 内容 (1) 令和4年度事業計画について (2) 小・中・高等学校における年間指導計画、共通実践課題について (3) 小・中学校の生徒指導上の課題のある児童生徒の実態と支援について (4) 小・中学校の不応児童生徒の実態と支援について (5) 小・中学校のいじめの認知状況について	○今年度の事業計画を確認し、小・中・高での情報共有を図ることができた。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第1回社会科副読 本編集委員会 5月7日（金）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 社会科副読本構成検討・役割分担 (2) 令和4年度配布社会科副読本編集スケジュール確認	○新学習指導要領に対応した副読本となるよう、昨年度作成した補助資料を活用しながら改訂作業を進めることを確認した。

<p>令和4年度保育所 訪問 5月23日（月） 5月26日（木） 5月31日（火）</p>	<p>場所 日向保育所 5/23 野田村保育所 5/26 玉川保育所 5/31</p> <p>内容 (1) 来年度就学予定児の生活の様子を参観 (2) 来年度就学予定児の情報交流</p>	<p>○特別に支援を要する幼児のみならず、来年度入学する幼児の様子を早期に把握することができた。</p>
---	---	--

6月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第1回 野田村小中連携授業力向上研修会 6月6日（月）</p>	<p>場所 野田中学校</p> <p>内容 (1) 教育長あいさつ (2) 説明 野田村小中連携教育について (3) 講義 道徳科の授業づくりと一人一台端末の利活用について</p>	<p>○道徳科の授業において資質・能力を身に付けるための授業改善の在り方を共有することができた。また、タブレット端末の効果的な活用について、様々な事例を知ることができた。 ●児童生徒の実態や先生方のニーズをもとに、講義のテーマを決定していく必要がある。</p>
<p>第1回 野田村小中連携教育協議会 6月6日（月）</p>	<p>場所 野田中学校</p> <p>内容 (1) 小中連携教育協議会について（説明） (2) 協議 教育課程、授業力向上、生徒指導、体力向上、保健</p>	<p>○小中の児童生徒の実態や指導方法について情報交換することができた。また、これから小中で共通して取り組む内容についての見通しをもつことができた。 ●45分という短い時間での交流となったため、時間のゆとりが必要である。</p>
<p>第1回 野田村教育支援委員会 6月9日（木）</p>	<p>場所 生涯学習センター</p> <p>内容 (1) 教育長あいさつ (2) 委員長及び副委員長の決定 (3) 協議 ア 令和3年度事業報告について イ 令和4年度事業計画について ウ 教育措置の判定があった児童生徒の状況報告について</p>	<p>○支援が必要な児童生徒の現況について理解を深めることができた。</p>

7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第2回 野田村生徒指導連絡協議会 7月6日（水）</p>	<p>場所 総合センター 内容 (1) 1学期の積極的生徒指導の実践事例について (2) 小・中・高等学校における共通実践課題（あいさつ・清掃）の取組状況について (3) 小・中学校の生徒指導上の課題（問題行動等）のある児童生徒の実態と支援について (4) 小・中学校の不応児童生徒の実態と支援の経過について (5) 小・中学校のいじめの認知状況について (6) 夏季休業中の生徒指導について</p>	<p>○各校の児童生徒における問題行動の実態と支援及び不応児童生徒の状況について、協議し共有することができた。 ○各校において、校内におけるあいさつの向上が見られた。 ○夏休みのきまりを全戸配布することで、地域全体で児童生徒を見守る雰囲気づくりを行うことができた。</p>
<p>特別支援教育支援員研修会 7月11日（月）</p>	<p>場所 野田小学校 参加者 野田小、中学校支援員 普代小、中学校支援員 普代村 はまゆり子ども園 保育教諭 内容 (1) 授業参観 (2) 講義「児童生徒への具体的な支援の在り方について」 久慈拓陽支援学校 鈴木 圭子 氏 (3) 協議「学校生活における支援の在り方について」 助言 久慈拓陽支援学校 鈴木 圭子 氏 板橋 悦子 氏 日當 裕子 氏 (4) 閉会行事</p>	<p>○特別支援教育についての理論と具体的な実践をつながりながら学ぶことができた。 ○各校の支援員の先生方が交流する場面を設定したことで、日常の課題や困り感を共有し、特別支援学校の先生から助言をいただくことで解決のヒントを得ることができた。 ●グループ協議の時間を長くし、もっと先生方が互いの声を聞き合う時間を保障する必要があった。</p>

8月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>初任者研修 野田村教育委員会研修（一般研修） 8月8日（月）</p>	<p>場所 総合センター、玉川漁港周辺 対象 野田小学校 林下 健吾 教諭 内容 (1) 講話「新任教員に期待すること」 教育長 小原 正弘 (2) 講義「野田村における教育課題」 指導主事 松本 一純 (3) 演習「地域教材の開発」 元教育委員 小原 良樹 氏</p>	<p>○林下教諭の思いをきくとともに、教員（社会人）として大切にすべきこと等を共有することができた。 ○野田村にある文化財や自然に触れたり、それらについて理解を深めたりしながら、地域教材の開発について学ぶことができた。</p>

<p>第2回 野田村教育支援委員会 8月25日（木）</p>	<p>場所 生涯学習センター 内容 (1) 委員長あいさつ (2) 協議 「学びの場」の変更が必要と思われる 児童生徒の学校での様子について交流及び今後の対応について</p>	<p>○対象児童生徒に対する適切な支援の在り方について協議を深めることができた。</p>
--	---	--

9月事業報告分 無し

10月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第2回 野田村小中連携推進会議 10月4日（火）</p>	<p>場所 総合センター 内容 (1) 前期の各校の「確かな学力育成プラン」に向けた取組について (2) 各校の研究推進の状況について (3) 小中連携教育協議会に係る取組 (4) 前期事業の振り返り (5) 標準学力検査の実施計画について</p>	<p>○両校で子どもたちの学びの姿を交流したことで、小中が連携していくことを確認することができた。 ○標準学力検査の実施について、その分析までの見通しをもつことができた。</p>
<p>第2回 野田村小中連携授業力向上研修会 10月31日（月）</p>	<p>場所 野田中学校 内容 (1) 授業参観（1年英語） 授業者：教諭 米澤 博幸 (2) 協議会 (3) 研修会伝講「教育支援」 主幹教諭 立花 公樹</p>	<p>○中学校1年生の授業を参観し、小学校の学びがどのように繋がっているかを考えることができた。 ○野田村授業改善プランに基づき協議し、授業改善について、小中で共通理解を図ることができた。 ●限られた時間のため、話す内容を焦点化する必要がある。またグループ協議を共有する場が必要である。</p>
<p>第2回 野田村小中連携教育協議会 10月31日（月）</p>	<p>場所 野田中学校 内容 (1) 説明 (2) グループ協議 (3) 交流</p>	<p>○実践を持ち寄り、情報を共有することができた。 ○これまでの実践を交流する中で、小中の共通点や接続点が話題となるグループがあった。 ●テーマによっては、取り組むことの困難さを感じていた。来年度のテーマについても検討していく必要がある。</p>

11 月事業報告分

事業名	実施状況	成果 (○) と課題 (●)
食育出前教室 (シイタケ) 11月14日 (月)	<p>場所 野田小学校</p> <p>内容</p> <p>(1) 校長あいさつ</p> <p>(2) シイタケの話 県北広域振興局林務部 田澤 英寿 氏</p> <p>生産者 古舘 幹男 氏</p> <p>(3) 献立の説明 栄養教諭 刈屋 保子</p>	<p>○県北で盛んに生産されているシイタケが日本でも有数の生産地であること、そして、野田村が県の中でも上位にあることを学ぶことができた。</p> <p>○生産者の喜び、苦労など学習することができた。地域の農産物であるシイタケを理解し、関心を高めるとともに、食に関する意識を高める良い機会となった。</p>

12 月事業報告分

事業名	実施状況	成果 (○) と課題 (●)
第 3 回 野田村生徒指導連絡協議会 12月 5 日 (月)	<p>場所 総合センター</p> <p>内容</p> <p>(1) 2 学期の積極的生徒指導の実践事例</p> <p>(2) 小・中・高等学校における共通実践課題 (あいさつ・清掃) の取組状況</p> <p>(3) 小・中学校の生徒指導上の課題 (問題行動等) のある児童生徒の実態と支援</p> <p>(4) 小・中学校の不応児児童生徒の実態と支援の経過</p> <p>(5) 小・中学校のいじめの認知状況</p> <p>(6) 冬季休業中の生徒指導</p> <p>(7) その他 野田村内及び久慈管内における事件・事故等の状況</p>	<p>○積極的生徒指導の実践の交流をし、生徒指導上の課題について各校の配慮を要する児童生徒について共通理解を図ることができた。</p>
第 3 回 野田村教育支援委員会 12月16日 (金)	<p>場所 生涯学習センター</p> <p>内容</p> <p>(1) 教育長あいさつ</p> <p>(2) 委員長あいさつ</p> <p>(3) 協議 「学びの場の判定について」</p>	<p>○児童生徒の検査結果や学校の様子などを踏まえ、児童生徒の学びの場を検討することができた。</p> <p>●協議内容を踏まえ、各学校において再検討する場や時間を考えると開催時期を早める必要がある。</p>

1月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
食育出前教室 (ホウレンソウ) 1月18日（水）	場所 野田小学校 内容 (1) 校長あいさつ (2) ホウレンソウの話 県北広域振興局農業改良普及センター 東海林 豊 氏 (3) 献立の説明 栄養教諭 刈屋 保子	○地元で盛んに栽培されているホウレンソウを理解し、児童は積極的に食べようとする意欲を持つことができた。 ●地元の生産者の声を直接児童に届けたい。
食育出前教室 (ワカメ) 1月27日（金）	場所 野田小学校 内容 (1) 校長あいさつ (2) ワカメの話 荒海団 中川 静規 氏 県北広域振興局水産部 小野寺 光文 氏 (3) 献立の説明 栄養教諭 刈屋 保子 (4) ワカメの変色実験	○地元の生産物であるワカメの生態や生産者の思いなどを学ぶことにより、ワカメの消費意欲を高めることができた。 ○生産者の協力によりワカメの実物に触れたり、変色を体験したりすることで、ワカメに対する関心を高めることができた。

2月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第3回 野田村小中連携授 業力向上研修会 2月1日（水）	場所 野田小学校 内容 (1) 授業参観 5年道徳 和山 哲大 教諭 (2) 全体会 (3) 研究協議 (4) 助言 八ツ役 真司 主任指導主事	○道徳の授業を通して、主体的に学ぶ授業の在り方、伝えることの重要性について校種をこえて共有することができた。 ●研究協議の時間確保が難しかった。協議を深めるためにも日程を検討していく必要がある。
第3回 野田村小中連携教 育協議会 2月1日（水）	場所 野田小学校 内容 (1) 説明 (2) グループ協議 (3) 交流	○小中の取組を交流することで、児童生徒の実態を共有することができた。 ●ゴールを明確にすることで、方向性をもった取組となるようにしていく必要がある。

<p>第3回 野田村小中連携教育推進会議 2月27日（月）</p>	<p>場所 総合センター 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度野田村小中連携教育事業反省について (2) 各校の教育課程実施の重点に関わる成果と課題について (3) 各校の校内研究の成果と課題及び来年度構想について (4) 令和4年度標準学力検査の結果考察及び今年度の学力育成プラン取組の成果と次年度への課題について (5) 令和5年度野田村小中連携教育推進計画について (6) 令和5年度教育課程編成上の留意点について 	<p>○各校の教育活動の取組や、研究から見えた教師のがんばりや子どもたちの成長を供することができた。 ○今年度の事業をもとに、来年度の事業の運営について話し合うことができた。 ●資料をデータ化したり、資料を事前配布したりすることで、情報共有する時間を短くする必要がある。</p>
---	---	---

3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第4回 野田村生徒指導連絡協議会 3月2日（木）</p>	<p>場所 総合センター 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各校における生徒指導年間反省について（生徒指導の現状と課題、共通実践課題「挨拶」「清掃」に係る成果と課題、積極的な生徒指導に係る反省など） (2) 小・中学校の生徒指導上の課題（問題行動等）のある児童生徒の実態と支援について (3) 小・中学校の不応児児童生徒の実態と支援の経過について (4) 小・中学校のいじめの認知状況について (5) 学年末・学年始休業中の生徒指導について (6) その他 次年度生指連協議会計画について 	<p>○今年度の積極的な生徒指導の取組や成果について、小学校・中学校・高校で共有することができた。 ○学年末・学年始休業中における生徒指導について留意すべき事項を共有することができた。</p>

2 生涯学習文化行政の実施状況

令和4年度 生涯学習文化行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村芸術文化協会 理事会 4月27日（水）	場所 総合センター 内容 総会提出議案の協議 (1) 令和3年度事業実績・収支決算 (2) 令和4年度事業計画・収支予算	○総会議案について協議を行った。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
放課後子ども教室「キッズセンター」 5月23日（月） 5月26日（木） 5月30日（月）	場所 総合センター、のんちゃん広場 内容 オリエンテーション、工作、竹馬 参加児童数 延べ51人 講師数 延べ6人	○キッズセンターのきまりについて説明した。1年生はしっかりと聞いてくれた。 ○工作では、2つの紙コップを合わせてテープで張り付ける作業を友達と協力して行う様子が見られた。
野田村芸術文化協会 総会 5月12日（木）	場所 書面開催 内容 下記議案に対する承認・決議 (1) 令和3年度事業実績・収支決算 (2) 令和4年度事業計画・収支予算	○提出議案は全団体から承認された。 ○コロナ過ではあるが、芸術文化関係団体の自主的活動の促進や連携を促した。

6月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
芸術鑑賞会 6月1日（水）	場所 村体育館 内容 演劇 語り芝居 「美しいことば 美しいひびき」の観覧	○中学生89人、久慈工業生64人、一般・教員47人、計200人が観覧し、多くの好評を得た。
村立図書館蔵書点検 6月6日（月） ～6月10日（金）	場所 村立図書館 内容 蔵書36,003冊（5月末）の点検	●図書館で所蔵している本について、分野ごとの偏りがあることから、今後の選書を検討したい。

<p>第1回 野田村地域学校協働本部事業実行委員会 6月27日（月）</p>	<p>場所 生涯学習センター 内容 (1) 令和4年度事業計画（案） (2) 令和4年度収支予算（案）</p>	<p>○学校支援事業、キッズセンター事業について、関係機関との情報提供や円滑な実施に向け協議が図られた。</p>
<p>放課後子ども教室「キッズセンター」 6月9日（木） 6月13日（月） 6月16日（木） 6月20日（月） 6月23日（木） 6月30日（木）</p>	<p>場所 総合センター、村体育館 内容 絵本、体育館、絵手紙、踊り他 参加児童数 延べ110人 講師数 延べ18人</p>	<p>○ペープサート（紙人形劇）をした。読み聞かせを聞くだけでなく、実際に演じる楽しさを教えてもらった。 ○絵手紙では、風船を画材いっぱい大きく描くことができた。講師から褒めてもらい、児童達はとても嬉しそうだった。</p>

7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>埋蔵文化財調査 通年</p>	<p>場所 村内一円 内容 過年度報告書作成</p>	<p>○試掘：民1件、公0件 ○本調査：民0件、公0件 （累計：民1件、公0件）</p>
<p>放課後子ども教室「キッズセンター」 7月4日（月） 7月6日（水） 7月11日（月） 7月25日（月）</p>	<p>場所 総合センター、生涯学習センター他 内容 昔遊び、絵本他 参加児童数 延べ52人 講師数 延べ15人 ※7/7, 7/14, 7/21は、感染症拡大防止のため中止。</p>	<p>○竹の水鉄砲作りを講師に教えてもらい、手作りの水鉄砲で遊ぶ良い経験となった。 ○シャボン玉遊びでは、どうしたら大きなシャボン玉ができるか、割れにくいのかなど、工夫を凝らしていた。</p>
<p>野田村郊外指導連絡会 総会 7月20日（水）</p>	<p>場所 生涯学習センター 内容 (1) 令和3年度事業実績・収支決算 (2) 令和4年度事業計画・収支予算 (3) 役員改選 (4) 合同研修会</p>	<p>○会員22人の出席により総会を行い、提出議案は原案どおり承認・決議された。</p>

8月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>図書館夏休み企画 「総合百科事典ポ プラディアを使っ たなぞ解きイベン ト」 8月1日（月）～ 8月5日（金）</p>	<p>場所 図書館、学習センター 内容 総合百科事典ポプラディアを使い、 調べる楽しさを子ども達に伝える。 ①夏休み謎解きイベント週間 ②ひゃっかじてんをつかってなぞ解 きせよ！</p>	<p>○学年に合った素材を揃えた ことにより、参加者の学びあ い、ふれあいの場がもうけら れた。 ○問題へのチャレンジでは、 意欲的に取り組み、良い意味 での競争意識が感じられた。 また、早く解けた子どもは、 ほかのサポートにまわるな ど、学び合いの場を設けられ た。</p>
<p>GO!GO!デイキャン プ（野田村悠 YOU ス ポーツクラブ共催 事業） 8月12日（金）</p>	<p>場所 厚井浜、十府ヶ浦海岸海水プール 内容 磯の生き物観察、海水プール遊び 昼食（焼きそば、じゃがバター） 参加児童数 8人</p>	<p>○磯に生息する多くの生き物 を観察し、充実した活動とな った。また、海水プールでは 泳いで競争するなど、それぞ れ楽しんでいた。</p>
<p>放課後子ども教室 「キッズセンター」 8月5日（金） 8月25日（木） 8月29日（月）</p>	<p>場所 学習センター、のんちゃん広場他 内容 昔遊び、工作 参加児童数 延べ56人 講師数 延べ4人</p>	<p>○玉川児童クラブからの参加 もあり、竹製の水鉄砲遊びを 存分に楽しむことができた。 どうしたら水が遠くまで飛ぶ か、講師と一緒に工夫する様 子がみられた。</p>

9月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>埋蔵文化財調査 通年</p>	<p>場所 村内一円 内容 建物新築に伴う発掘、調査</p>	<p>○試掘：民1件、公0件 ○本調査：民0件、公0件 （累計：民2件、公0件）</p>
<p>第58回野田村総合 文化祭 第1回実行委員会 議 9月14日（水）</p>	<p>場所 学習センター 内容 第58回野田村総合文化祭の開催につ いて (1) 公演部門 10月30日（日） (2) 展示部門 11月5日（土）、6日（日）</p>	<p>○公演部門・展示部門とも開 催する方向で決定を受け、各 団体への周知や調整が図られ た。</p>

<p>いきいきライフ 「世界遺産御所野遺跡に行こう」 9月25日（日）</p>	<p>場所 一戸町（御所野縄文公園ほか） 内容 御所野遺跡、縄文博物館、いちのへ手 技工芸館見学 参加者数 13人</p>	<p>○博物館職員による丁寧な案内に参加者は非常に満足していた。 ●手技工芸館は見るだけでは少し物足りず、体験等があるともっと楽しめたと思う。</p>
<p>放課後子ども教室 「キッズセンター」 9月1日（木） 9月5日（月） 9月8日（木） 9月12日（月） 9月15日（木） 9月22日（木） 9月29日（木）</p>	<p>場所 総合センター、体育館、玉川児童館 内容 絵手紙、踊り、避難訓練他 参加児童数 延べ98人 講師数 延べ10人</p>	<p>○竹や端材で作る自由工作では、指定した枠の中で工夫しながら、時間いっぱい工作を楽しむことができた。 ○初めて試みた避難訓練は、避難時の誘導や点呼等、概ねスムーズに行うことができた。毎年定期的実施していきたい。</p>

10月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>埋蔵文化財調査 通年</p>	<p>場所 村内一円 内容 建物新築に伴う発掘、調査</p>	<p>○試掘：民2件、公0件 ○本調査：民0件、公0件 （累計：民4件、公0件）</p>
<p>総合文化祭公演部門出演者打合せ 10月14日（金）</p>	<p>場所 総合センター 内容 プログラム、控室割当、リハーサル等</p>	<p>○公演部門へ向け、出演団体とのプログラム順やリハーサルの日程等調整が図られた。</p>
<p>第1回 社会教育委員会議 10月24日（月）</p>	<p>場所 総合センター 内容 令和4年度事業実施状況（上半期）について</p>	<p>○社会教育事業について、ご意見をいただくなど協議の場となった。</p>
<p>第58回野田村総合文化祭 公演部門 10月30日（日）</p>	<p>場所 村体育館 内容 村芸術文化協会加盟団体、保育所、小学校合奏団、中学校等11組、13組のステージ発表ができた。</p>	<p>○感染対策を行い、例年に近い開催ができた。 出演者(延べ)138人 来場者500人 ●新型コロナ感染による急遽の出演辞退があり、プログラムの調整に苦慮した。</p>

放課後子ども教室 「キッズセンター」 10月3日（月） 10月6日（木） 10月13日（木） 10月17日（月） 10月20日（木） 10月24日（月） 10月27日（木）	場所 総合センター、体育館、玉川児童館 内容 竹馬、炭で灯りをつけよう、ハロウィン、踊り、絵手紙、絵本 参加児童数 延べ117人 講師数 延べ20人	○炭で電池を作成し、LEDの灯りがつくると児童達は歓声を上げていた。貴重な経験ができた。 ●竹馬の足をかける部分の位置が高く、初めての児童には怖いようだった。
--	---	--

11月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 建物新築に伴う発掘、調査	○試掘：民1件、公1件 ○本調査：民0件、公0件 （累計：民5件、公1件）
第1回 図書館協議会委員 会議 11月1日（火）	場所 総合センター 内容 令和4年度事業実施状況（上半期） について	○図書館事業や蔵書について 広く意見をいただいた。
第58回野田村総合 文化祭 展示部門 11月5日（土） 11月6日（日）	場所 村体育館 内容 絵画、書、写真、手工芸、生け花、木工、陶芸や文芸などの手作り作品の展示を行った。	○35の団体・個人から1,460点の作品展示があり、延べ957人の来場者があった。
第58回野田村総合 文化祭第2回実行 委員会 11月28日（月）	場所 ※書面開催 内容 総合文化祭の実施結果について 実行委員会29団体中24団体から回答があり、意見なしが23団体であった。	○公演部門、展示部門とも出演者・出品者ともに概ね満足 いただけたようである。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 11月14日（月） 11月17日（木） 11月21日（月） 11月28日（月）	場所 総合センター、村体育館、玉川児童館 内容 岩手ビッグブルズスポーツ教室、踊り、工作他 参加児童数 延べ69人 講師数 延べ7人	○プロスポーツ選手との交流を通じて、スポーツを楽しみ、バスケットボールを身近に感じることができた。 ○踊りでは、児童だけで踊ってみたが、だいぶ踊れるようになっていて講師から褒めていただいた。

12月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
いきいきライフ 親子で作るクリスマスツリーのアレンジメント 12月3日（土）	場所 生涯学習センター 内容 生花でクリスマスツリーのアレンジメント製作 参加者 小学生の親子5組 13人	○和気あいあいと製作しており、家族のふれあいの場を創出することができた。 ○講師の丁寧な指導により、全員時間内に終了できた。
いきいきライフ ヨガ教室 12月5日（月） 12月12日（月） 12月19日（月） 12月26日（月）	場所 生涯学習センター 内容 毎週月曜 全4回 ヨガ教室の開催 参加者 延べ30人／申込8人	○ストレッチ、筋トレ、ヨガポーズなど、参加者の年代にあわせたメニューを講師が考えてきてくれ、和やかな雰囲気ですすすめられた。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 12月1日（木） 12月5日（月） 12月8日（木） 12月12日（月） 12月15日（木） 12月20日（火）	場所 総合センター、体育館ほか 内容 工作、体育館遊び、踊り、絵本、絵手紙、昔遊び 参加児童数 延べ118人 講師数 延べ17人	○絵手紙では、1時間の短い活動の中でも要点を押さえた説明と、丁寧な指導により、時間内に終了することができた。 ●昔遊びでは、参加が多く、凧作りの説明が行き届かなかった。講師と事務局で指導の仕方について事前に打ち合わせが必要だった。

1月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村二十歳のつどい 1月8日（日）	場所 村体育館 内容 二十歳のつどい（式典、記念行事） 出席者 200人（うち新成人31人）	○感染症対策を講じながらの開催であったが、出席予定の新成人全員が出席することができた。 ●実行委員6名で全ての役割を分担したが、もう少し人数を増やしても良かった。
冬休み図書館映画会 1月11日（水）	場所 生涯学習センター 内容 冬休み期間の子ども達を対象に、物語の世界に触れ、図書館に親しみをもってもらうため、映画会を実施した。	○29人の参加があった。外国語指導助手（ALT）も加わり英語の絵本の読み聞かせも行い、図書館に興味を持ってもらうことが出来た。

野田村教育振興会 表彰審査会 1月27日（金）	場所 総合センター 内容 教育振興会表彰候補者の審査(審査員 5名)	○表彰候補者 35名（学芸8 名、健康スポーツ27名）の個人・団体の審査を行った。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 1月11日（水） 1月15日（日） 1月23日（月） 1月26日（木） 1月30日（月）	場所 総合センター、生涯学習センター他 内容 図書館映画会、昔遊び、工作、絵本 参加児童数 延べ68人 講師数 延べ9人	○昔遊びでは、親子で仲良く 凧作りをしたり、保護者同士 で羽子板遊びをするなど、昔 遊びを通して家族の触れ合い の場を創出することができた。

2月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村生涯学習大会 2月11日（土）	場所 生涯学習センター 内容 講演、教育振興表彰	○全体的な定員を制限するなど感染症対策を講じながら開催することができた。 ●表彰の際、コートを着たまま登壇させてしまい、リハーサルでの指導が足りなかった。
第2回 野田村地域学校協働本部事業会議 2月21日（火）	場所 総合センター 内容 実績報告、収支精算、評価検証について	○学校支援・キッズセンター事業への評価検証を行い、意見交換の機会となった。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 2月6日（月） 2月9日（木） 2月13日（月） 2月16日（木） 2月20日（月）	場所 総合センター、村体育館 内容 体育館遊び、踊り、絵手紙、工作 参加児童数 延べ68人 講師数 延べ10人	○踊りでは、2～3年生の女子を中心として、積極的に踊りの練習に取り組んでいた。講師の指導をよく聞き、一つひとつの動きを友達と確認しながら踊るなど、上達が著しかった。

3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 建物新築に伴う発掘、調査	○試掘：民0件、公1件 ○本調査：民0件、公0件 （累計：民5件、公2件）

<p>図書館企画展 「桃の節句と輝く 女性の生き方」 2月21日（火） ～3月9日（木）</p>	<p>場所 村立図書館 内容 桃の節句及び国際女性デーに合わせた本の展示・貸出。</p>	<p>○女性の生き方や、季節の行事にまつわる本の展示ができた。また、商工会女性部の協力のもと、手作りの吊るし雛を展示したことで、より多くの来場者があり、効果的であった。</p>
<p>図書館企画展 「県立図書館巡回 展示」 3月16日（木） ～3月20日（月）</p>	<p>場所 村立図書館 内容 「手づくり絵本展」 県立図書館で実施した手作り絵本コンクールの入選作品等50点の展示。</p>	<p>○制作者ひとり一人の個性が活かされた作品を展示することで、絵本に親しむ展示となった。</p>
<p>文化財調査委員会 議 3月23日（木）</p>	<p>場所 総合センター 内容 令和4年度事業報告</p>	<p>○文化財の保護管理、発掘調査等についてご意見を伺う機会となった。</p>
<p>放課後子ども教室 「キッズセンター」 3月6日（月） 3月9日（木） 3月13日（月） 3月16日（木）</p>	<p>場所 総合センター、村体育館他 内容 体育館遊び、工作、昔遊び 参加児童数 延べ100人 講師数 延べ4人</p>	<p>○今年度最後の活動にたくさんの児童が参加してくれた。久しぶりに6年生が来て、下級生を見守ったり竹馬を教えてくれたり、非常に助かった。</p>

3 生涯スポーツ行政の実施状況

令和4年度 生涯スポーツ行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
スポーツ推進委員 会議 4月27日（水）	場所 総合センター 内容 令和4年度スポーツ推進委員年間計画 について	○年間計画を確認し、自主事業に関して確認した。 ○大運動会種目に関し、多くの提案をいただいた。
e-スポ広場 4月7日（木） 14日（木） 21日（木） 28日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ54人	○e-スポ広場での運動が普段の生活で使う筋肉とは違う筋肉を使うため、参加者の健康増進につながった。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
e-スポ広場 5月12日（木） 19日（木） 26日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ46人	○手腕作業能力測定により指と頭の運動につながった。 ○新規参加者2人

6月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村民体育大会 運営委員会 6月29日（水）	場所 総合センター 内容 (1) 第35回野田村民体育大会実施結果について (2) 第67回野田村民大運動会について	○これまでの運動会から、十府ヶ浦公園を会場としスポーツフェスティバルという形で提案したところ、魅力あるイベントとするよう検討を加えて再度競技することとした。
e-スポ広場 6月2日（木） 6月9日（木） 6月16日（木） 6月23日（木） 6月30日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ73人	○熱中症に注意し楽しく運動させることができた。

7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村民体育大会 運営委員会 7月27日（木）	場所 総合センター 内容 野田村スポーツフェスティバル in 十 府ヶ浦公園の実施計画（案）について	○前回開催した運営委員会 での意見をもとに、修正した 計画（案）を提案したところ 概ね決定した。
e-スポ広場 7月7日（木） 7月14日（木） 7月21日（木） 7月28日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ49人	○転倒に注意し元気に楽し く運動させることができた。 ○3年ぶりに参加してくれ た方がいた。

8月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村文化スポー ツプロジェクト実 行委員会総会 8月2日（火）	場所 役場2階 第1・第2会議室 内容 (1) 令和3年度事業実績決算 (2) 令和4年度事業計画予算	○2議案とも異議なく可決 した。 ○東京オリンピックが終了 したことにより、ホストタウ ンとしての役割が終了し、今 後の目標を委員に説明した。
野田村体育協会理 事会・評議員会 8月4日（木）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 令和3年度事業実績決算 (2) 令和4年度事業計画予算 (3) 役員改選	○スポーツ吹矢協会の脱退 を報告した。
悠YOUスポーツ クラブ 「小学生水泳教室」 8月4日（木） 8月5日（金）	場 所 村民プール 内 容 水泳に関する技能・知識の習得の場 とし、水泳に親しみ、健康・体力の維持 増進を図る。 参加者 4日：13名、5日：17名	○参加者の上達が目に見え て分かり、上達したことを本 人も実感できることで、向上 心を育てることもできた。 ○子どもの成長を見て取れ るため、次回実施の際には保 護者の見学参加を促してみ たい。
e-スポ広場 8月4日（木） 8月18日（木） 8月25日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ34人	○ニュースポーツに苦戦し ていたが、若返ったと喜んで もらえた。

9月事業報告分

事業名	実施状況	成果 (○) と課題 (●)
e-スポ広場 9月1日(木) 9月8日(木) 9月15日(木) 9月22日(木) 9月29日(木)	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ63人	○e-スポ広場が世間話や情報交換の場となり心の癒しにも役立った。

10月事業報告分

事業名	実施状況	成果 (○) と課題 (●)
野田村スポーツ フェスティバル in 十府ヶ浦公園 10月9日(日)	場所 十府ヶ浦公園 内容 村内各地区のスポーツ・レクリエーション活動を促進し、村民の健康と体力の向上に寄与するとともに、連帯への交歓をめざす体育の祭典とする。	○全て新競技で実施したが、天候にも恵まれ盛況の内に実施することができた。 ●会場のほか内容を変えて最初の開催だったこともあり、修正・調整が必要な部分が多くある。
スポーツ推進委員 会議 10月19日(水)	場所 総合センター 内容 野田村スポーツフェスティバルの総括について	○新イベント「スポーツフェスティバル」を実施しての反省等を共有した。
久慈地区スポーツ 少年団交流大会 (軟式野球) 10月29日(土) 30日(日)	場所 ライジング・サン・スタジアム 内容 久慈管内の学童野球5チームの野球大会開催・運営	●学童野球大会が数多く開催されていることから、各種大会との調整が難しかった。
e-スポ広場 10月6日(木) 10月13日(木) 10月20日(木) 10月26日(水)	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ55人	○転倒に気を付けながら自分のペースで無理なく楽しく笑顔で運動させることができた。

11月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田村体育協会理事會 11月2日（水）	場所 総合センター 内容 野田村体育協会運営活動費交付基準の策定について	○加盟団体への運営活動費交付基準を提案した。
野田村スポーツ少年団本部長杯野球新人大会（第32回） 11月5日（土）	場所 ライジング・サン・スタジアム 内容 九戸地区の学童野球新人大会の開催・運営	○実践経験の少ない児童にとって、貴重な経験の場となっていた。
野田村民体育大会運営委員会 11月9日（水）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 第35回野田村民体育大会の実施結果について (2) 第36回野田村民体育大会の事業計画（案）について	○スポーツフェスティバルを含め、新たな取り組みに対しての振り返りや検討を深めるなど、活発な意見交換がなされた。
スポーツ推進委員自主事業 「パークゴルフ教室」 11月20日（日）	場所 十府ヶ浦公園 パークゴルフ場 参加者 31名 内容 スポーツ少年団員を対象としたパークゴルフ大会の開催	○多くの参加があり、スポーツ少年団相互の交流が図られた。 ●協会員内でのルール共有が不十分だったため、事前に調整が必要。
悠YOUスポーツクラブ事業 「ボルダリング教室」 11月26日（土）	場所 クライミングジム ノースロック（青森県階上町） 参加者 親子21名 内容 「ボルダリング」体験により、基礎的な技術を習得するとともに、スポーツを通じた世代間交流を図る。	○コースをクリアするために登り方を考え、他の参加者や親子で相談しながら競技しており、互いに応援し、称えるなど、スポーツによるコミュニケーションが生まれた。
e-スポ広場 11月10日（木） 11月24日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ25人	○2週間ぶりの開催となったが、転倒に気を付けながら運動させることができた。

12月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
e-スポ広場 12月1日（木） 12月8日（木） 12月15日（木） 12月22日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ57人	○寒い時期でも楽しく体を動かすことで健康維持に貢献できた。

1月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
悠YOUスポーツクラブ事業 「スケート教室」 1月13日（金）	場 所 県北青少年の家 参加者 小学生15名、保護者2名 内 容 スケートの基本的な技能、マナーを習得し、ウィンタースポーツに親しむ。	○経験者はよりスムーズに初めての参加者は基本的な滑り方を学ぶことができた。 ○親子での参加者もおり、我が子の上達を目の前で見ることができた。 ●毎年教室の最後にプラネタリウムを鑑賞させているが、開催時期が同じであることから内容がマンネリ化している。
e-スポ広場 1月12日（木） 1月19日（木） 1月26日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ37人	○寒い時期であるため、参加者の様子を見ながら運動させることができた。

2月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第36回野田村民体育大会 第18回どこでもテニポン大会 2月1日（水）	場所 村体育館 内容 村民体育大会「テニポン」の実施	○4地区対抗となってから初めてのテニポンだったが、地区を超えての交流が深められた大会となった。 ●1日開催としたが、21時を超えてしまったため、時間配分の検討が必要。
第27回野田村長杯 中学校バレーボール大会 2月4日（土）	場所 村体育館 内容 県大会予選を兼ねた大会の開催及び運営	○ケガ等なく、選手がプレーに集中できる形で開催できた。

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
悠YOUスポーツクラブ事業 「スキー・スノーボード教室」 2月18日（土）	場 所 奥中山高原スキー場 参加者 16名（うち引率保護者1名） 内 容 スキー・スノーボードの基礎的な技能・知識等を習得し、生涯スポーツの推進に寄与する。	○事務局員4名が引率し、スキーとスノーボードそれぞれに参加したため、教室中も問題なく進めることができた。 ○村内では体験できないスポーツであり、参加者のウィンタースポーツへの関心を高めることができた。
台湾陸上協会オンラインクリニック 2月18日（土）	場所 役場2階 委員会室（オンライン） 内容 静岡市、鹿児島県大崎町との横連携事業による台湾陸上選手からの走り方教室	○次回はオフラインで直接交流したいとお話いただいた。
e-スポ広場 2月2日（木） 2月9日（木） 2月16日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ38人	○e-スポ広場で体を動かすことで心も体も元気になったと喜んでもらった。

3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
台湾訪問事業 3月14日（火）～ 3月18日（金）	場所 台北市内 参加者 (株)のだむら 1名 村事務局員 2名 内容 (1)物産交流に向けた検討、交渉 ⇒5事業者を訪問。大型デパート2、和食店1、料理研究室1、インポーター1 (2)スポーツ交流に向けた検討、協議 ⇒台湾陸上協会	○台湾有数の大型デパートの販売カタログに山ぶどうワインを掲載して進めることとなった。 ●新型コロナウイルス感染症が収束したことにより陸上競技の世界大会が各地で開催され始めており、令和5年度以降、選手が村を訪問して交流することが難しくなるとのこと。 ●台湾側は物産交流には非常に前向きで積極的だが、スポーツ交流の実施には課題が多く、交流を継続するための目標や目的を改めて精査する必要がある。
e-スポ広場 3月2日（木） 3月9日（木） 3月16日（木） 3月23日（木） 3月30日（木）	場所 村体育館 内容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ69人	○事業を継続することで、高齢者の体力維持に貢献できた。